さくらサイエンスプラン活動報告

送り出し側機関:タイ タマサート大学シリントーン国際工学部

実施期間:2018年10月24日~11月2日

参加者: 教員1名, 学生15名(学部生13名, 大学院生2名)

活動報告:

プログラムの初日にはまず、東京大学の紹介と見学、そして本学が用意している留学生受け入れの取組について説明し、再来日に向けた印象付けを行った。図1がガイダンスの際の様子である。



図1 初日のガイダンスの様子

その後、研究室における活動に向け、受け入れ研究室の教員あるいは学生との顔合わせが行われ、研究室での PBL がスタートした。今回は情報分野の学生が 9 名、都市工学分野の学生が 6 名であり、情報分野、都市工学分野ともに 6 研究室が受け入れ、各研究室の専門に関する特色ある PBL プログラムを実施した。その一例を図 2 に示す。



図2 自動制御研究室で研究室の学生と一緒に考える参加者

最終日には、各研究室での成果をポスター形式で発表する発表会が実施された。まず各参加者 はポスターの前で口頭によるショートプレゼンテーションを行い(図3,4),続いてポスターの前 で来場者とディスカッションを行った。





図3

来場者に説明する情報分野の参加者 図4 来場者に説明する都市工学分野の参加者

続いて修了式を行い、学長より修了証と記念品が贈呈された(図5,6)。



図5 学長から修了証を授与される参加者



図6 修了式後の記念撮影

さらにこのあと、お別れパーティを開催し、研究室で一緒に取り組んだ学生とともに、短い滞在の名残を惜しんだ。またこの会には国際的な活動を行う学生団体「武蔵」の学生も参加し、盛大な会となった(図 7)。



図7 プログラム参加者と協力者による記念撮影